

雪氷研究大会 2011 凍土分科会セッション（講演会・総会）

1. 日 時：9月20日（火） 17:30-19:30（総会 19:00～）

2. 場 所：会議室 D, E

3. 概 要

雪氷を含む気象現象は、われわれの日常生活に大きな影響を与える。しかし、この現象を長期間の気候変動としてみると、新たな視点で様々な分野に影響を与えることが予想される。科学的な凍土観測が始まって以来数10年。諸先輩たちが積み上げてきた凍土の観測から日本における気象現象がどのように変化してきたのか。それぞれ独自に行われた観測・解析結果をすり合わせるにより、浮かび上がる気候変動の実像に迫る。

4：プログラム

○趣旨説明（武田分科会長）

○凍土が語る気候変動

（1）「富士山の永久凍土研究速報」

岩花 剛（北海道大学）

（25分）

（2）「積雪下での土壌凍結融解の長期変動」

原田裕介（寒地土木研究所）

（25分）

（3）「全球気候モデルの気候再現性と凍土過程」

斎藤和之（海洋開発研究機構）

（25分）

（4）話題提供

帯広畜産大（武田一夫）

○総会（後半 30 分程度）

- (1) 議長選出
- (2) 役員改選 会長, 幹事, 監事 (資料)
- (3) 事業報告

大学間セミナー (2010 年 10 月 9-10 日)

協力: ジオツアー (2010 年 10 月 16-17 日)

後援: 第 11 回 永久凍土のモニタリングと変動に関する研究集会
(2011 年 1 月 31 日-2 月 1 日 於 北海道大学低温科学研究所)

他

- (4) H 2 2 年度監査報告 (資料)
- (5) 事業計画

大学間セミナー (2011 年 8 月 10 日-12 日)

協力: ジオツアー (2011 年 10 月 1-2 日)

後援: 永久凍土のモニタリングと変動に関する研究集会?

北海道における土壌の凍結深分布測定?

日本の地温のデータセット収集

他 (渡辺あるいは FrostML まで)

- (6) 「雪氷用語辞典」の改定作業について

現状説明

「雪氷研究大会の各分科会で再検討」の依頼がきている。

作業: 解説付きの用語の厳選と執筆者の概案作成。

目標: 2 割増に抑える。

今後の予定

2011 年 9 月末 用語・執筆者の候補案を決定

2011 年 10 月中旬 各著者に執筆依頼。

2011 年 12 月末 著者の原稿締め切り

2012 年 3 月末 発行予定

- (7) 国際会議等報告

TICOP 25-29 June 2012 @ Yamal-Nenets autonomous district

(9/15 論文締切、2012 3/12 Extended Abstract 締切。その他関連情報)

AGU, IGS 他

IPY, 北極圏コンソーシアム関連情報

Vadoze Zone Journal, Special issue “Hydrology of frozen soil”.

2011 土壌水分ワークショップ 12 月 22 日(木)@東京

(10/9 発表申込み締切)

他

- (8) その他

分科会 (あるいは ML) の登録状況

- (9) 議長解任